

性別にみると（表2-5-1）、男女共「コンドーム」（男性90.6%、女性84.3%）を適切な避妊法として最も多くの者が挙げているが、男性は9割以上と女性よりもやや多い。「ピル（経口避妊薬）」（男性3.9%、女性6.1%）については、女性の方がやや多くなっている。

性・年齢別にみると（表2-5-1）、「コンドーム」を挙げた者は、いずれの年齢層も、男性は9割前後、女性は8割台で年齢層別の差はほとんどない。

また、回答数は少ないが、「ピル（経口避妊薬）」を挙げた者は女性の20～24歳（9.0%）が、「膣外射精法（精液を外に出すこと）」は男性の40～44歳（5.1%）、「基礎体温法（基礎体温をはかる）」は女性の40～44歳（4.0%）が、それぞれ他の性・年齢層に比べて多くの者が適切な避妊法として考えている。

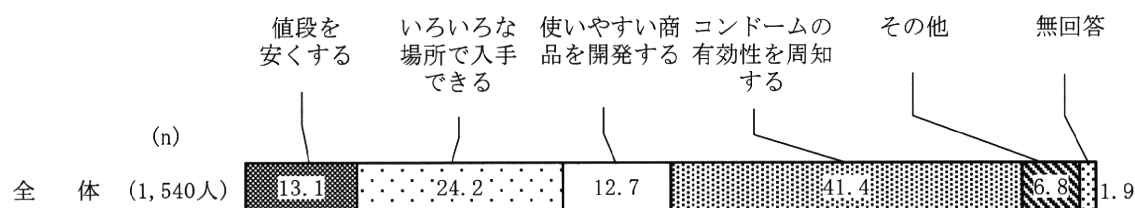
表2-5-1 現時点で適切と判断する避妊法（性別、性・年齢別）

	(n)	コンドーム	経口避妊薬 (ピル)	フィルム 状避妊薬	オギノ式 避妊法	基礎体温 法	膣外射精 法	ペッサリ ー
全体	1540	87.1	5.1	-	0.3	1.2	1.4	0.2
〔性別〕								
男性	671	90.6	3.9	-	-	0.1	2.2	0.1
女性	869	84.3	6.1	-	0.5	2.0	0.8	0.2
〔性別×年齢〕								
男性 16～19歳	61	90.2	4.9	-	-	-	3.3	-
20～24歳	65	93.8	-	-	-	-	-	-
25～29歳	107	88.8	5.6	-	-	0.9	2.8	-
30～34歳	103	92.2	4.9	-	-	-	1.0	-
35～39歳	133	89.5	4.5	-	-	-	1.5	-
40～44歳	98	89.8	3.1	-	-	-	5.1	-
女性 45～49歳	104	91.3	2.9	-	-	-	1.9	1.0
女性 16～19歳	65	75.4	6.2	-	1.5	1.5	1.5	-
20～24歳	100	87.0	9.0	-	-	-	-	-
25～29歳	111	87.4	7.2	-	-	-	0.9	-
30～34歳	118	86.4	3.4	-	0.8	1.7	0.8	-
35～39歳	162	86.4	6.2	-	-	1.9	-	0.6
40～44歳	151	82.8	7.9	-	0.7	4.0	0.7	-
45～49歳	162	82.1	3.7	-	0.6	3.1	1.9	0.6

	(n)	緊急避妊 法	IUD/ IUS	この中に はない	無回答
全体	1540	-	1.0	1.8	1.9
〔性別〕					
男性	671	-	0.1	1.6	1.2
女性	869	-	1.7	1.8	2.5
〔性別×年齢〕					
男性 16～19歳	61	-	-	1.6	-
20～24歳	65	-	-	3.1	3.1
25～29歳	107	-	0.9	0.9	-
30～34歳	103	-	-	1.0	1.0
35～39歳	133	-	-	3.0	1.5
40～44歳	98	-	-	1.0	1.0
女性 45～49歳	104	-	-	1.0	1.9
女性 16～19歳	65	-	1.5	7.7	4.6
20～24歳	100	-	1.0	1.0	2.0
25～29歳	111	-	0.9	-	3.6
30～34歳	118	-	4.2	1.7	0.8
35～39歳	162	-	3.1	0.6	1.2
40～44歳	151	-	0.7	2.6	0.7
45～49歳	162	-	0.6	1.9	5.6

6 コンドーム利用促進策

問 14 どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。(〇は1つ)

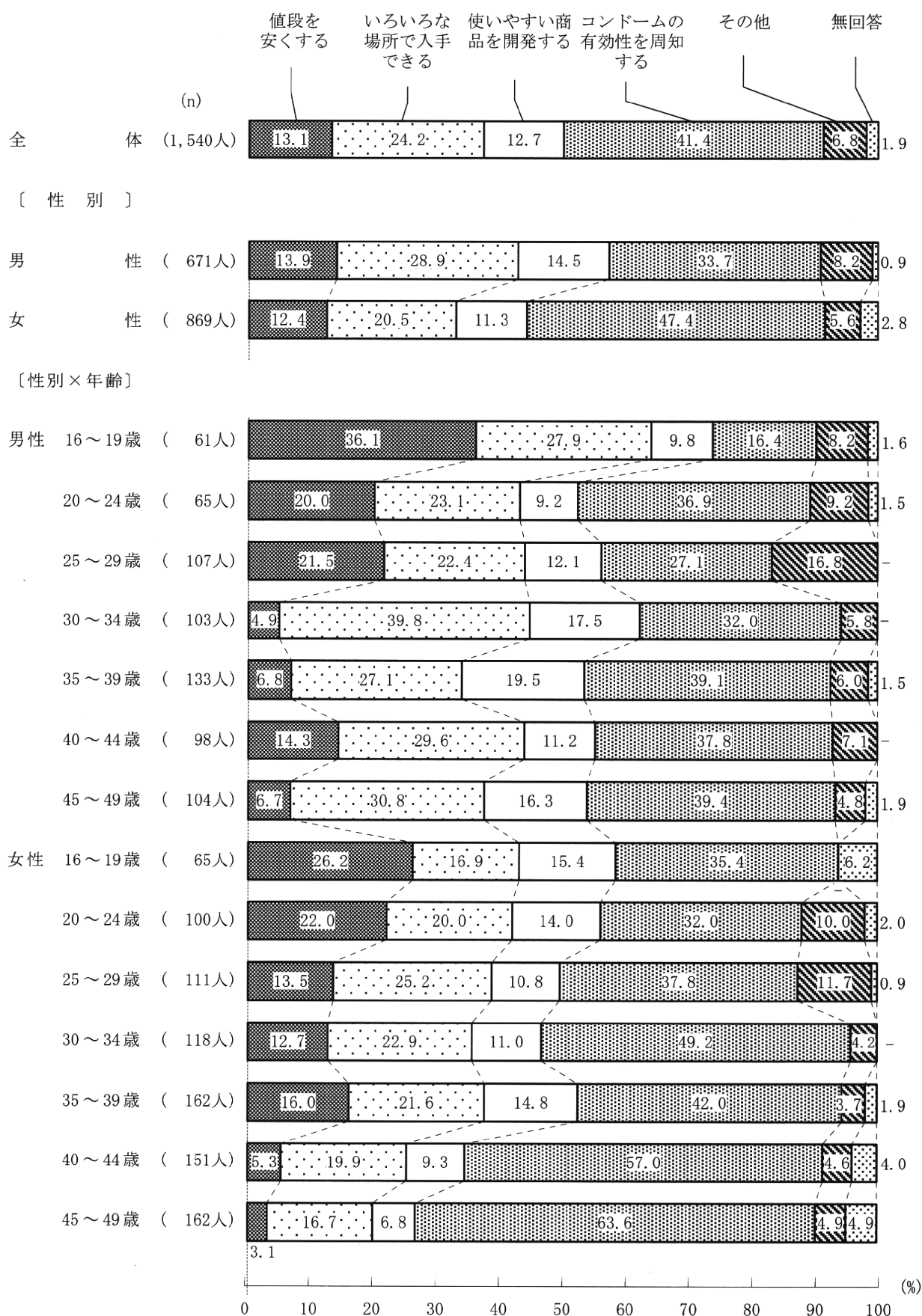


コンドームの利用を増やすために何が有効な手段であると思うかを聞いたところ、「コンドームの有効性（性感染症の予防効果など）を周知する」という者が 41.4%と最も多く、次いで「いろいろな場所で入手できる」という者が 24.2%と続く。「値段を安くする」（13.1%）と「使いやすい商品を開発する」（12.7%）は1割強である。

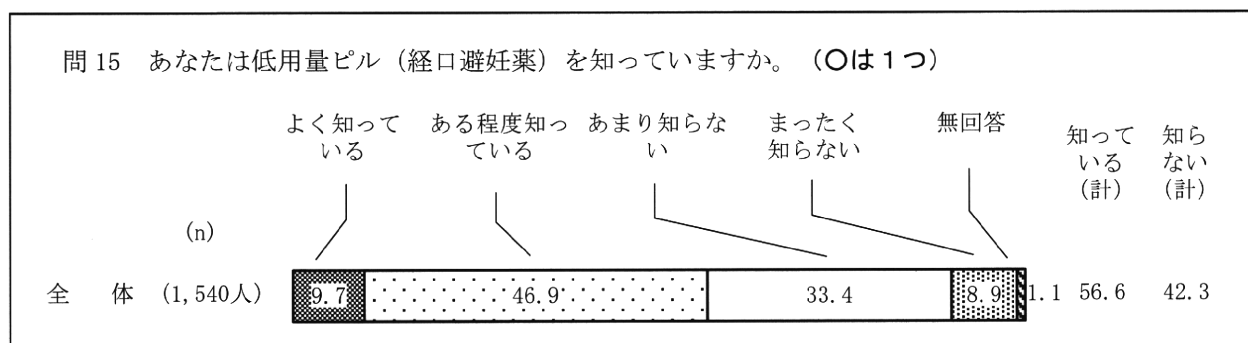
性別にみると（図2-6-1）、「コンドームの有効性（性感染症の予防効果など）を周知する」は男性（33.7%）より女性（47.4%）が約14ポイント上回っている。一方、「いろいろな場所で入手できる」は女性（20.5%）より男性（28.9%）に多い。

性・年齢別にみると（図2-6-1）、「コンドームの有効性（性感染症の予防効果など）を周知する」と答えた者は女性の40歳代（40～44歳 57.0%、45～49歳 63.6%）の年齢層で多く、6割前後を占めている。「いろいろな場所で入手できる」という者は、男性の30～34歳（39.8%）が約4割と多い。一方、「値段を安くする」という者は、該当数は少ないが男女共19歳以下（男性 36.1%、女性 26.2%）で多く、特に男性16～19歳では最も多数を占めている。

図2-6-1 コンドーム利用促進策（性別、性・年齢別）



7 低用量ピル（経口避妊薬）の周知

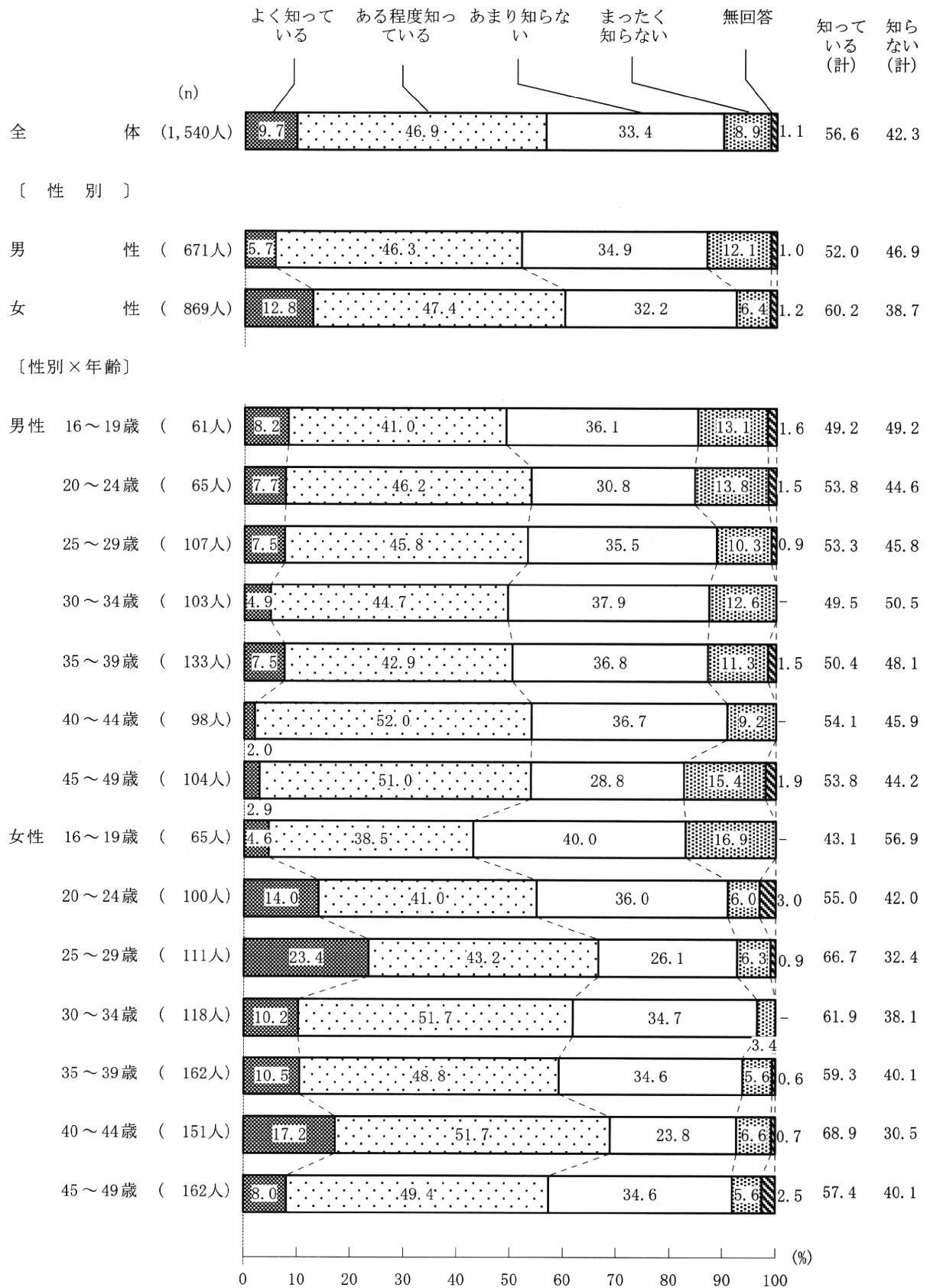


低用量ピル（経口避妊薬）のことを「よく知っている」（9.7%）者は約1割で、「ある程度知っている」（46.9%）という者と合わせると、半数以上が『知っている』（56.6%）と答えている。

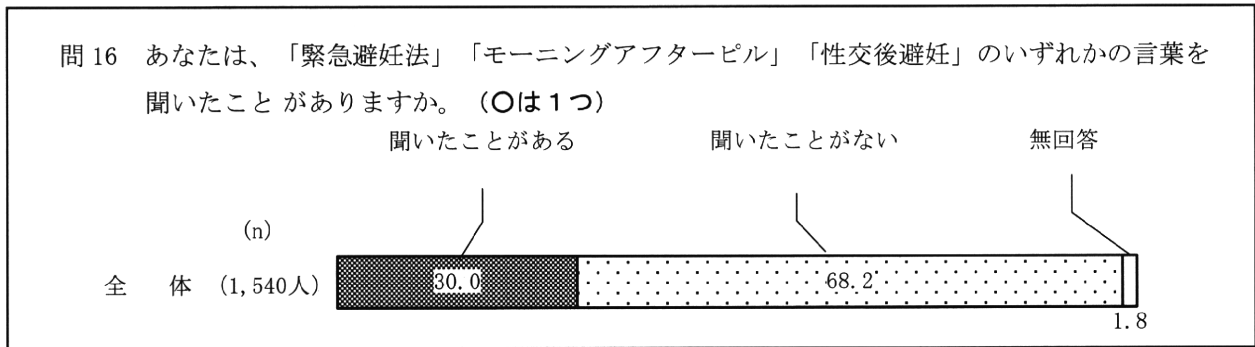
性別にみると（図2-7-1）、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』者は男性（52.0%）より女性（60.2%）に多く、女性の6割が低用量ピルを『知っている』と答えている。

性・年齢別にみると（図2-7-1）、低用量ピルのことを「よく知っている」と答えた者は、女性の25～29歳（23.4%）と40～44歳（17.2%）が多いが、男性はいずれの年齢層も1割未満である。一方、「まったく知らない」と答えている者は、男性の45～49歳（15.4%）と、該当数は少ないが女性の16～19歳（16.9%）の年齢層で多くなっている。

図2-7-1 低用量ピル（経口避妊薬）の周知（性別、性・年齢別）



8 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の周知

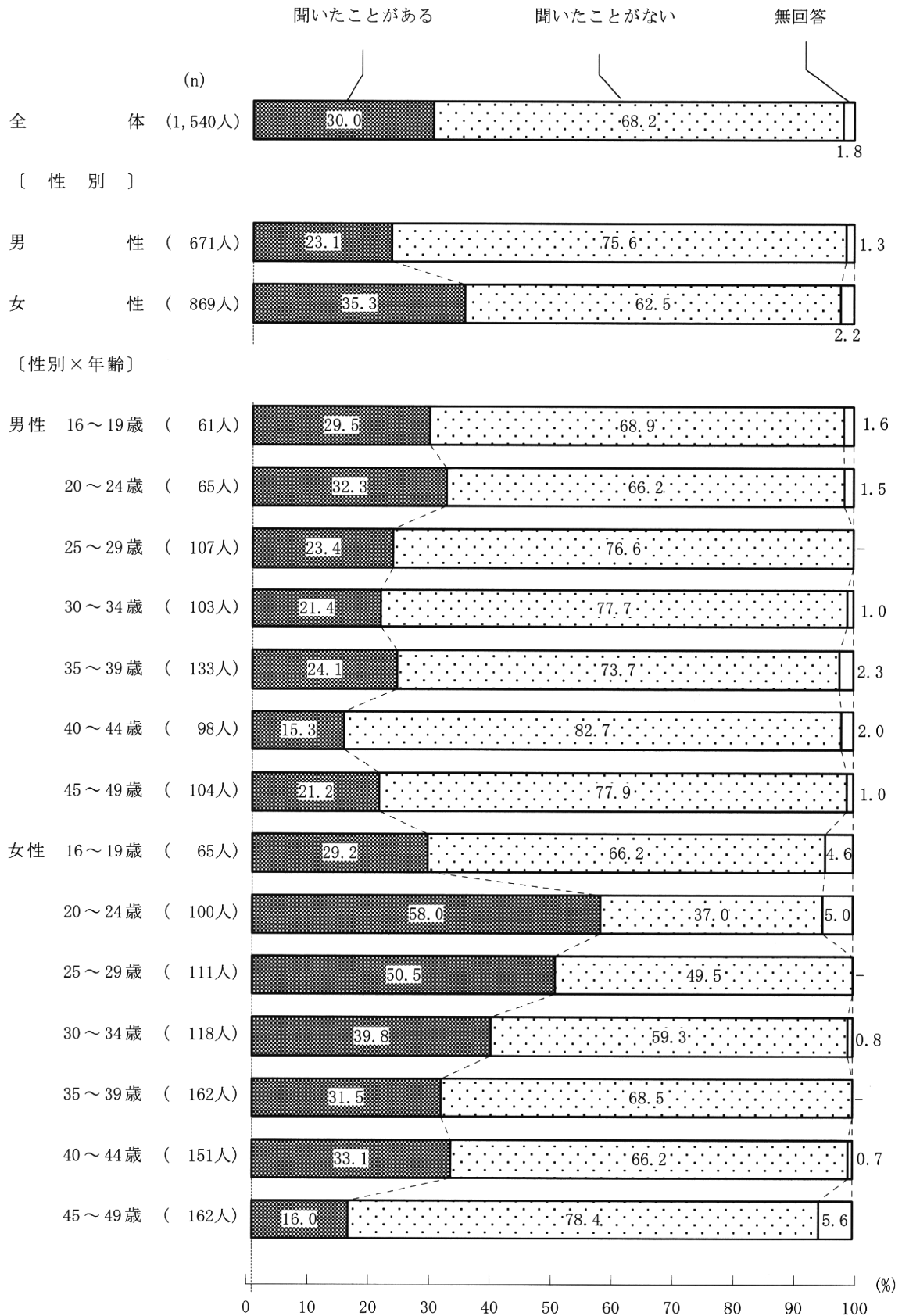


“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” のいずれかの言葉を「聞いたことがある」(30.0%) 者は3割、「聞いたことがない」(68.2%) 者は7割弱である。

性別にみると(図2-8-1)、女性は3人に1人が「聞いたことがある」(女性35.3%、男性23.1%)と答えており、男性よりも12ポイント上回っている。

性・年齢別にみると(図2-8-1)、「聞いたことがある」という者は女性では若年齢ほど多くなる傾向がみられ、20代の年齢層(20~24歳58.0%、25~29歳50.5%)では半数を超えている。一方、男性の40~44歳(15.3%)と女性の45~49歳(16.0%)は1割台と少ない。

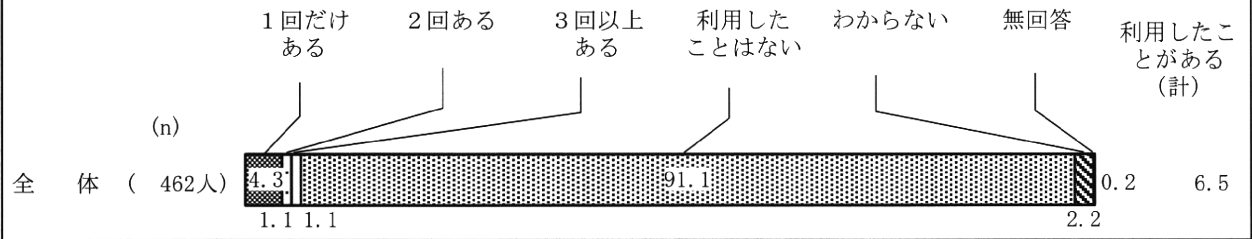
図2-8-1 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の周知
(性別、性・年齢別)



9 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の利用経験

【問16で「1」と答えた方にお聞きします。】

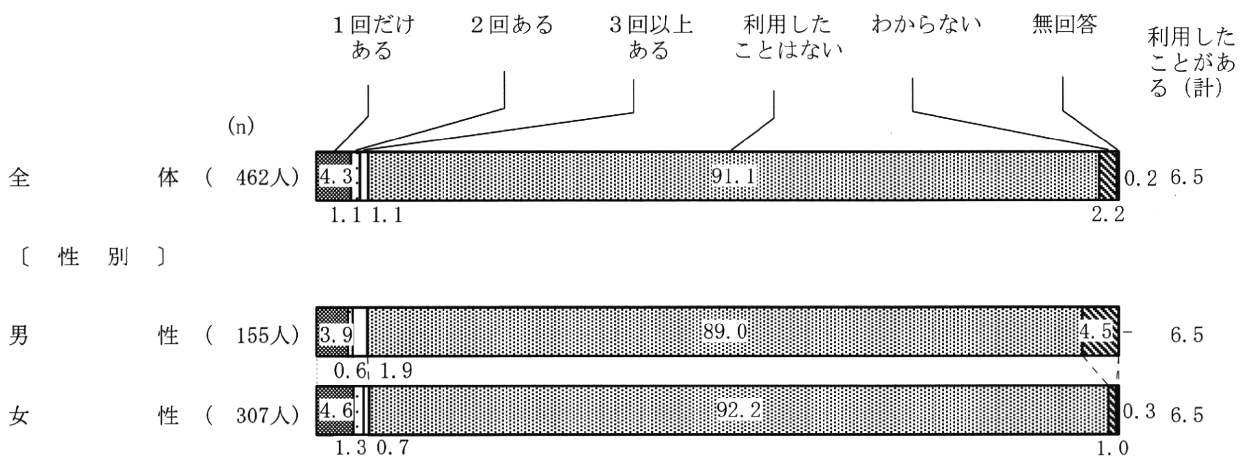
問17 上記のいずれかの言葉に該当する方法を利用したことがありますか。いくつかの方法を利用したことがある方は、合計の回数をお答えください。（〇は1つ）



“緊急避妊法” “モーニングアフターピル” “性交後避妊” のいずれかの言葉を聞いたことがあるという者 (462 人) に、いずれかの言葉に該当する方法を利用したことがあるかどうかを聞いたところ、「1回だけある」者が 4.3%で、「2回ある」「3回以上ある」者はいずれも 1.1%と少なく、「利用したことはない」 (91.1%) という者が大多数となっている。

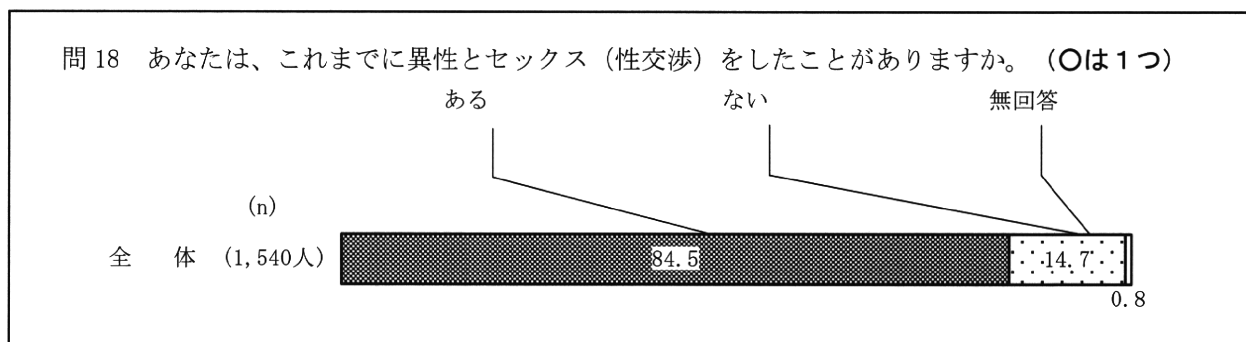
性別にみると (図 2-9-1)、大きな差はみられないが、「利用したことはない」女性 (92.2%) は9割を超えている。

図 2-9-1 「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」の利用経験



第3章 自分自身の性行動

1 これまでのセックス（性交渉）経験の有無

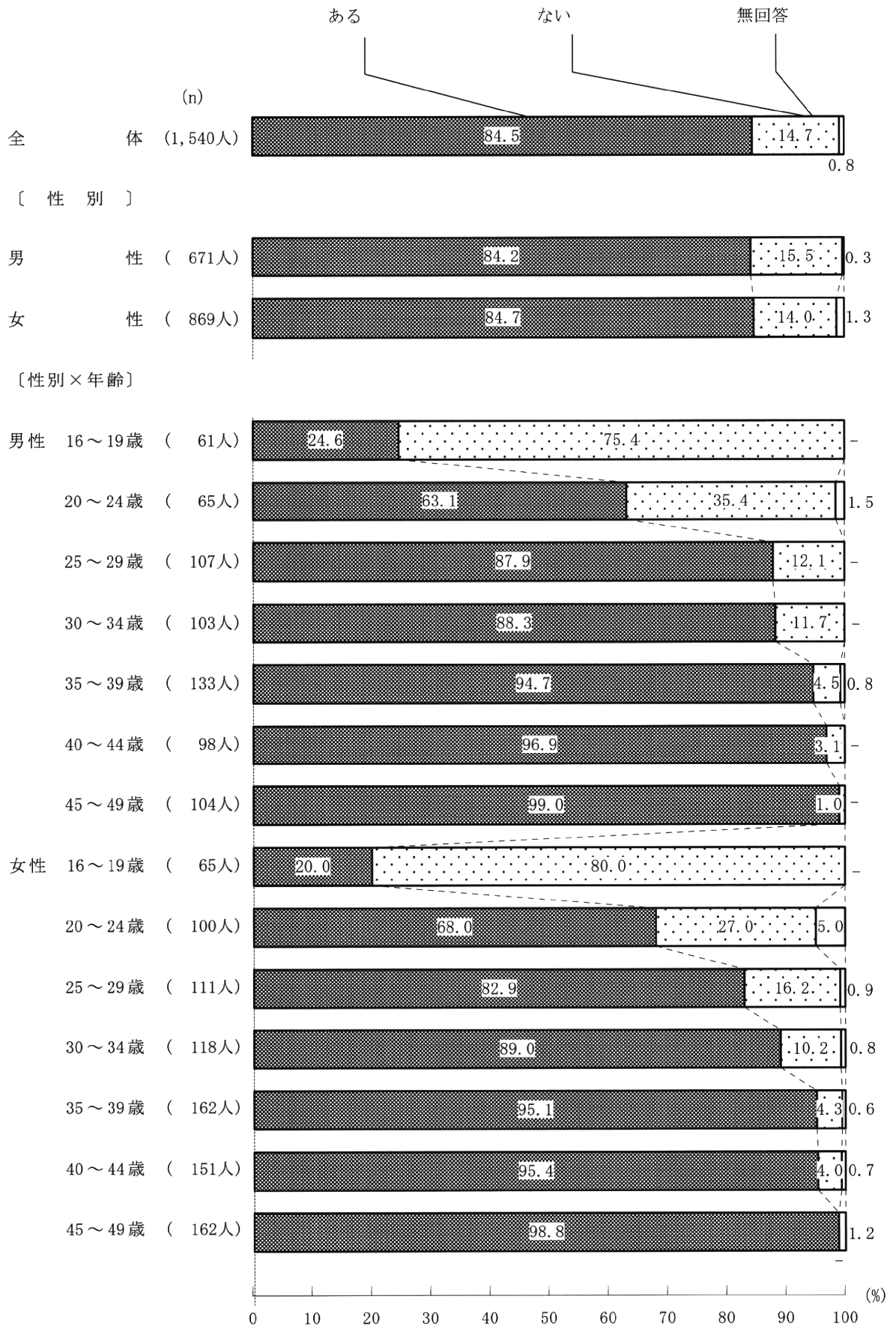


これまでのセックス（性交渉）経験を聞いたところ、セックスをしたことが「ある」者は 84.5%である。一方、「ない」という者（14.7%）は1割台である。

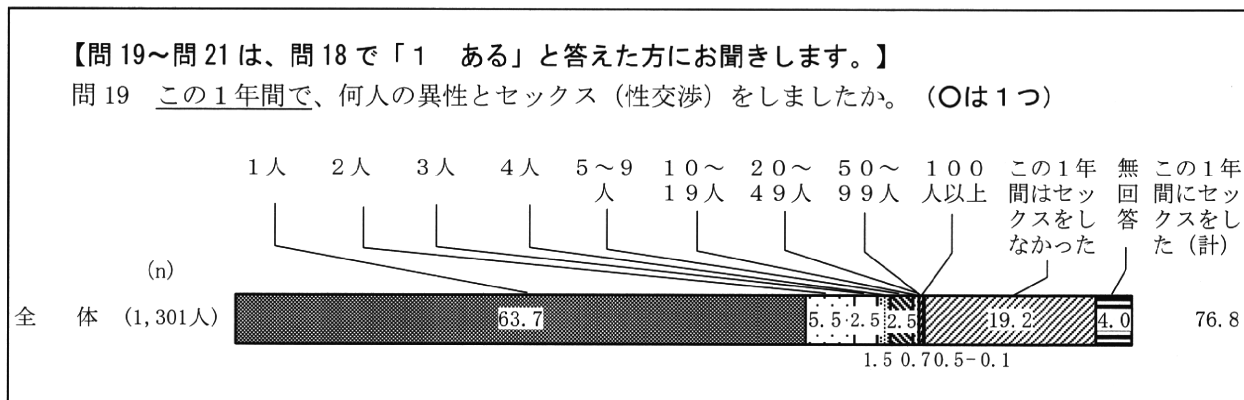
性別にみると（図3-1-1）、男女で大きな差はみられない。

性・年齢別にみると（図3-1-1）、セックス経験が「ある」は、年齢が高くなるほど多くなり、男女共 35 歳以上の年齢層では9割を上回っている。なお、該当数は少ないが、16～19 歳で経験が「ない」者は男性（75.4%）より女性（80.0%）がやや多い。

図3-1-1 これまでのセックス（性交渉）経験の有無（性別、性・年齢別）



2 この1年間にセックス（性交渉）をした相手の人数



これまでに異性とセックス（性交渉）をしたことのある者（1,301人）に、この1年間にセックスをした相手の人数を聞いたところ、「1人」という者が63.7%で最も多く、次いで「2人」と答えた者が5.5%、以下、「3人」「5～9人」と答えた者がそれぞれ2.5%と続く。

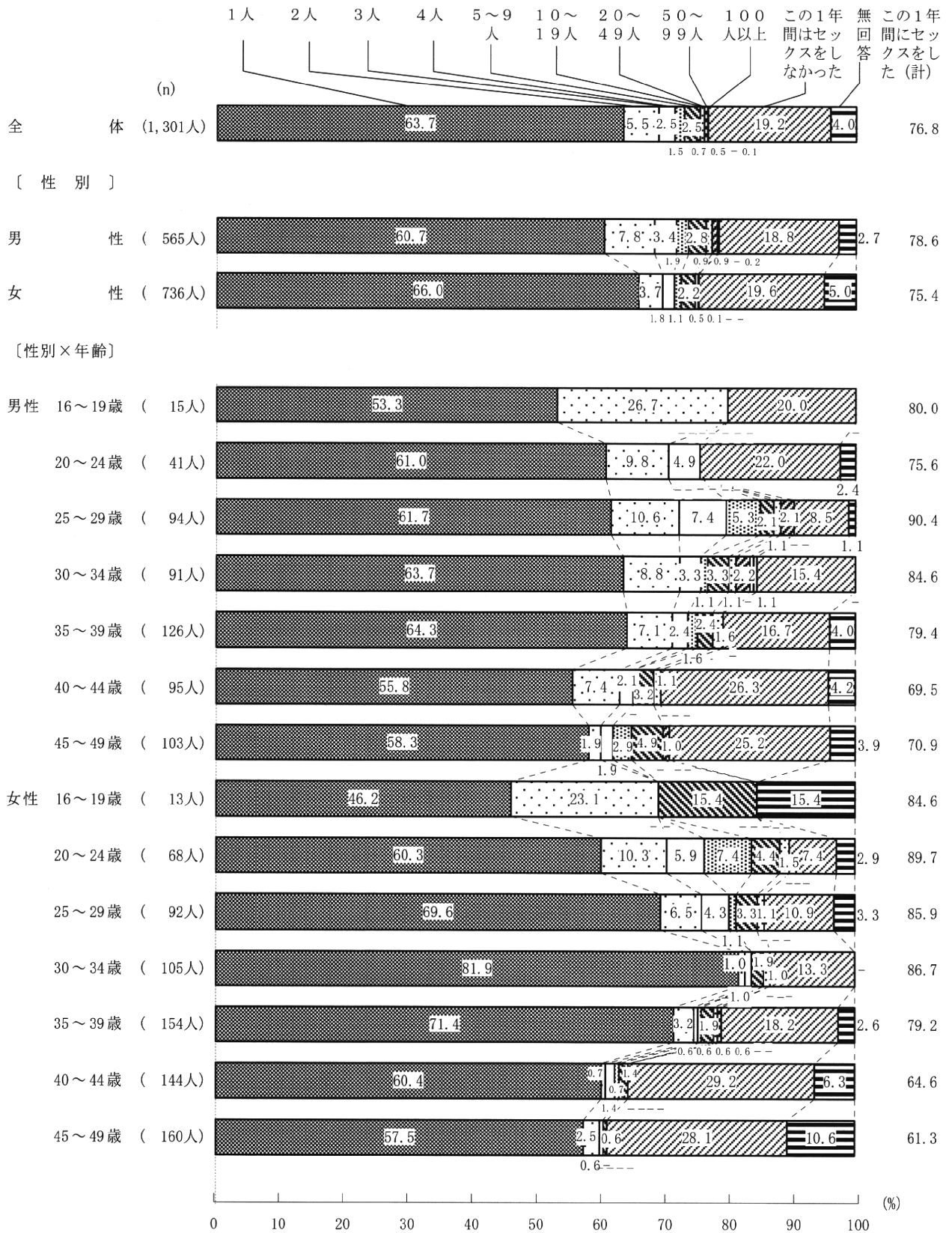
また、「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は19.2%である。

性別にみると（図3-2-1）、この1年間にセックスした人数が「1人」とあるという者は女性（66.0%）が男性（60.7%）よりも、約5ポイント上回っている。一方、セックスの経験人数が2人以上と答えた者は、いずれも女性より男性の方が多くなっている。

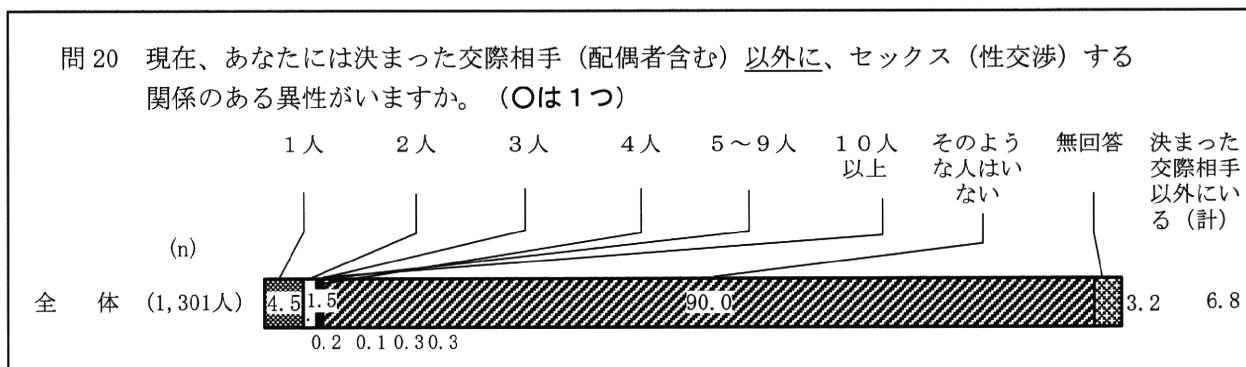
「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」者は男性（18.8%）と女性（19.6%）で差はみられない。

性・年齢別にみると（図3-2-1）、この1年間のセックスの相手が「1人」と答えた男性はいずれの年齢層も5割台もしくは6割台であるのに対して、女性の30代（30～34歳81.9%、35～39歳71.4%）は他の性・年齢層よりも多くなっている。経験人数が「2人」という者は、該当数は少ないが男女共に16～19歳（男性26.7%、女性23.1%）で2割を超えている。一方、「この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は男性25歳以上、女性20歳以上の年齢層で年齢が高いほど多くなる傾向がみられ、特に、40歳以上では、男性の4人に1人（40～44歳26.3%、45～49歳25.27%）、女性の約3割（40～44歳29.2%、45～49歳28.1%）を占めている。

図3-2-1 この1年間にセックス（性交渉）をした相手の人数（性別、性・年齢別）



3 決まった交際相手以外でセックス（性交渉）する人数



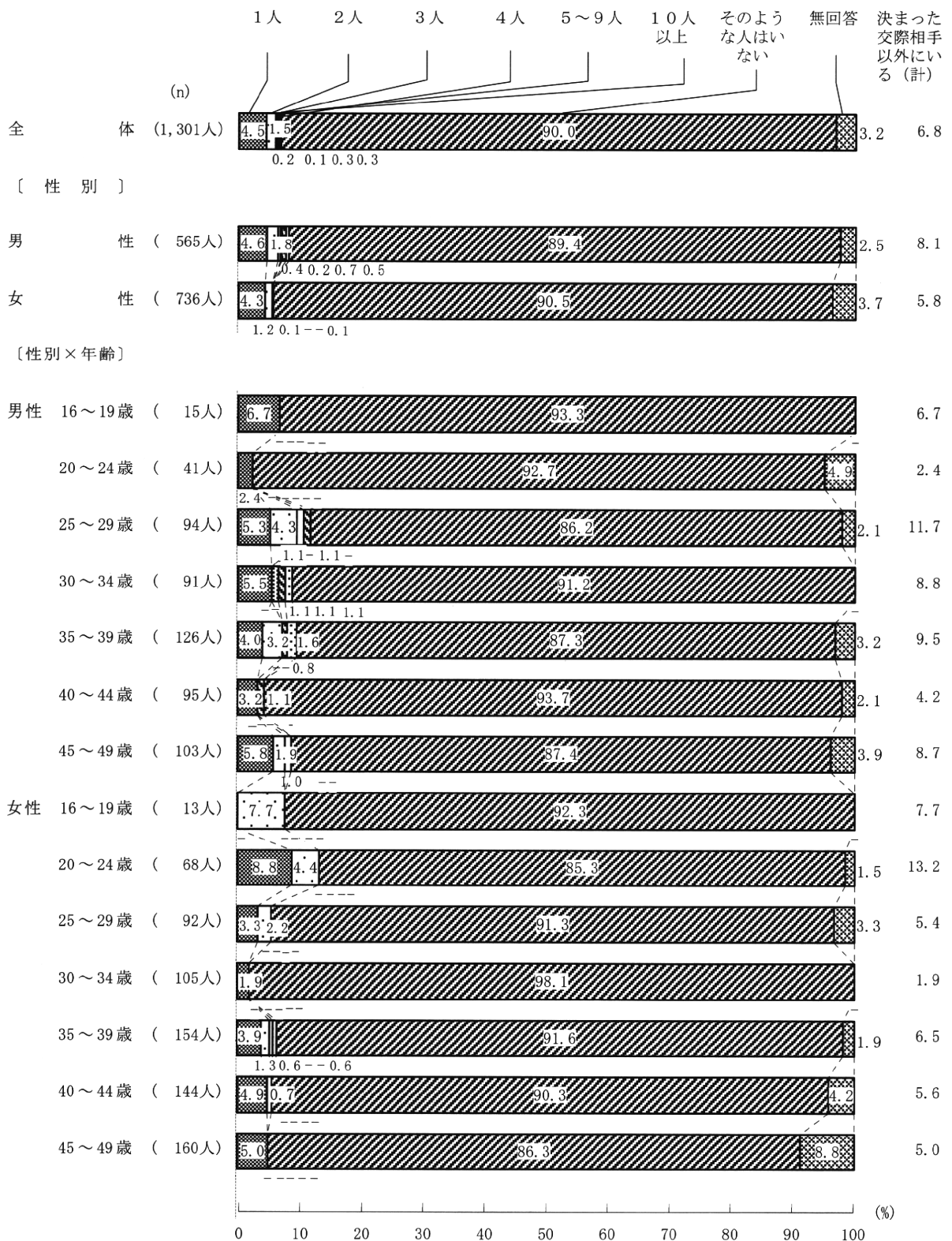
これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,301人）に、決まった交際相手以外でセックス（性交渉）する人数がいるかを聞いたところ、「1人」と答えた者は4.5%で、2人以上いる者も合わせた、『決まった交際相手以外にいる』と答えた者は6.8%である。

また、「そのような人はいない」と答えた者は90.0%と大多数を占めている。

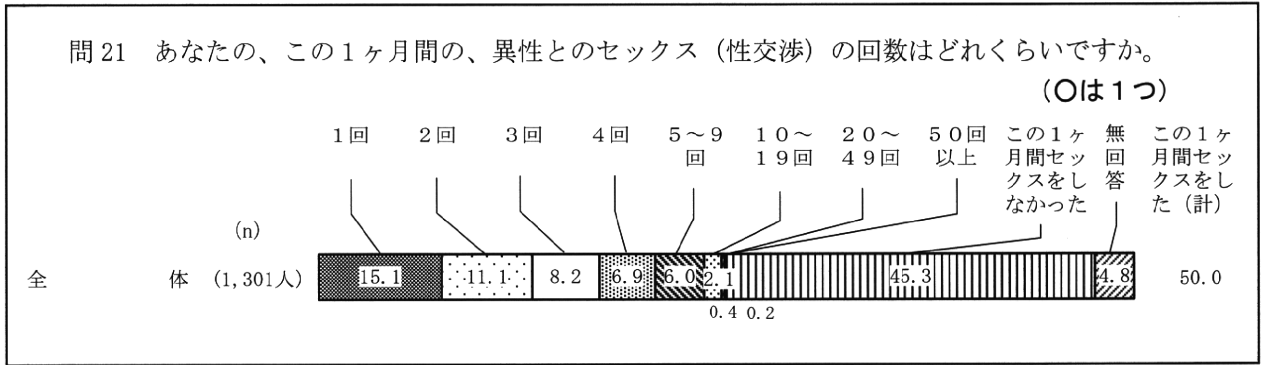
性別にみると（図3-3-1）、男女で大きな差はみられない。

性・年齢別にみると（図3-3-1）、『決まった交際相手以外にいる』者は、該当数は少ないが男性の25～29歳（11.7%）と女性の20～24歳（13.2%）で1割を超えており、他の性・年齢層に比べてやや多くなっている。一方、「そのような人はいない」という者は女性の30～34歳（98.1%）ではほぼ全数を占めている。

図3-3-1 決まった交際相手以外でセックス（性交渉）する人数（性別、性・年齢別）



4 この1ヶ月間のセックス（性交渉）回数

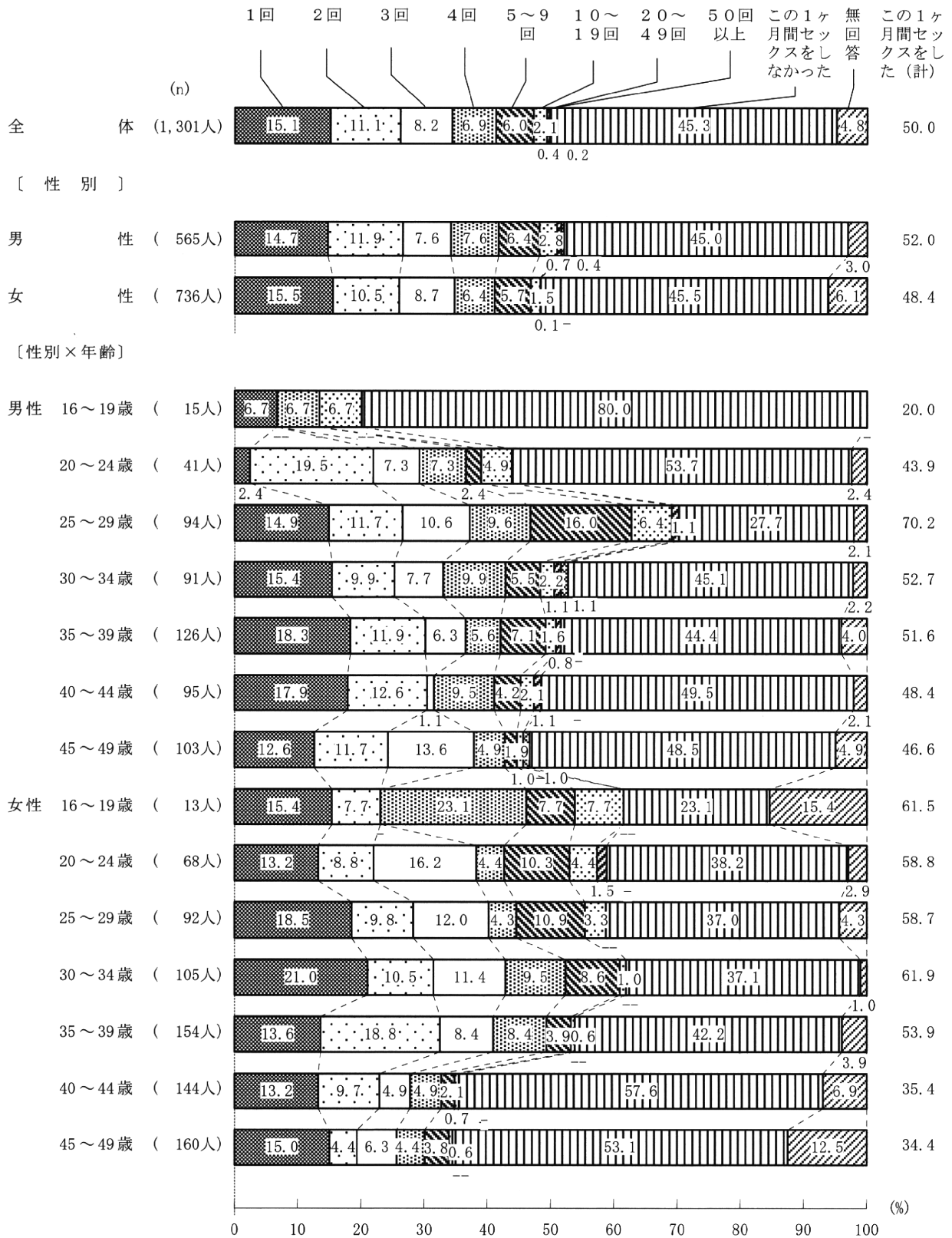


これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,301人）に、この1ヶ月間のセックス回数を聞いたところ、「1回」（15.1%）と答えた者が1割半ば、「2回」（11.1%）と答えた者が約1割、3回以上の回答はそれぞれ1割未満となっている。『この1ヶ月にセックスをした』（50.0%）者は半数、「この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった」という者は45.3%である。

性別にみると（図3-4-1）、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると（図3-4-1）、『この1ヶ月にセックスをした』者は、該当数は少ないが男性の25～29歳（70.2%）で多くなっている。「1回」と回答した者は女性の30～34歳（21.0%）で2割を超えている。一方、40歳以上の女性は「この1ヶ月間は、セックスをしなかった」（40～44歳57.6%、45～49歳53.1%）者が半数を大きく超えている。

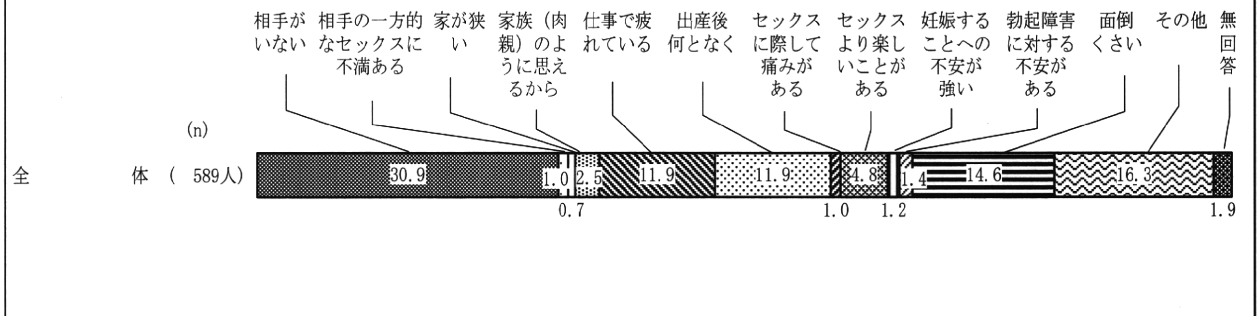
図3-4-1 この1ヶ月間のセックス（性交渉）回数（性別、性・年齢別）



5 セックス（性交渉）に積極的になれない理由

【問 21 で「9」と答えた方にお聞きします。】

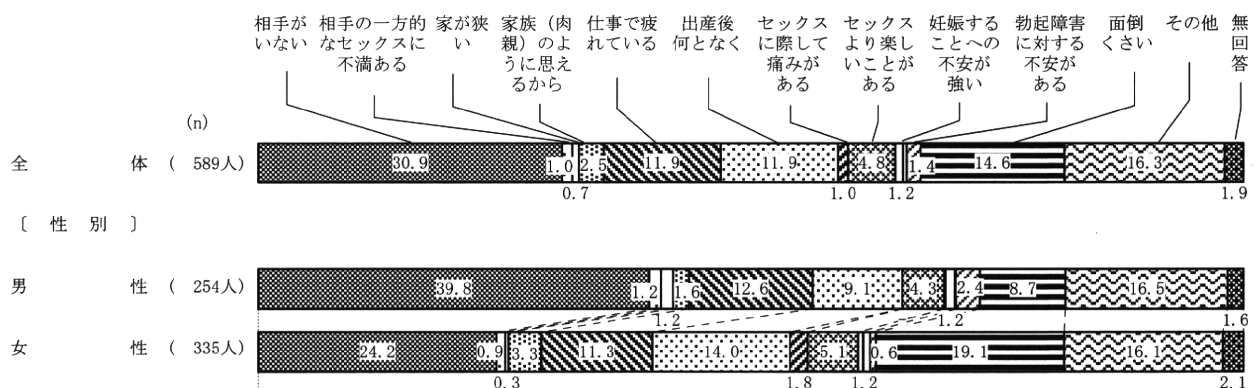
問 22 セックスに対して積極的になれない理由のうち、もっともあなたの意見に近いものを選んでください。（○は1つ）



この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった者（589人）に、セックスに対して積極的になれない理由を聞いたところ、「相手がない」と答えた者が30.9%で最も多く、続いて「面倒くさい」（14.6%）、「仕事で疲れている」（11.9%）、「出産後何となく」（11.9%）が1割を超えている。

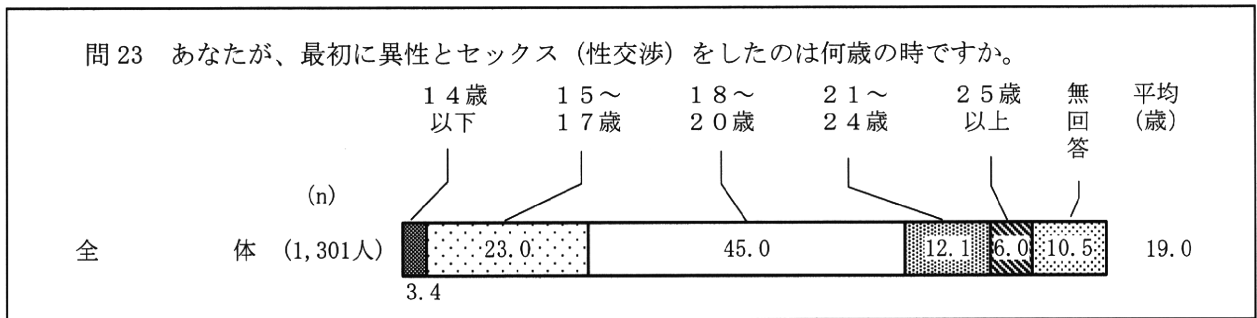
性別にみると（図3-5-1）、「相手がない」と回答した者は女性（24.2%）より男性（39.8%）で多く、約16ポイント上回っている。一方、「面倒くさい」「出産後何となく」と答えた者は、いずれも男性（面倒8.7%、出産後9.1%）より女性（面倒19.1%、出産後14.0%）が上回っている。

図3-5-1 セックス（性交渉）に積極的になれない理由（性別）



第4章 初めてのセックス（性交渉）について

1 最初にセックス（性交渉）をした年齢



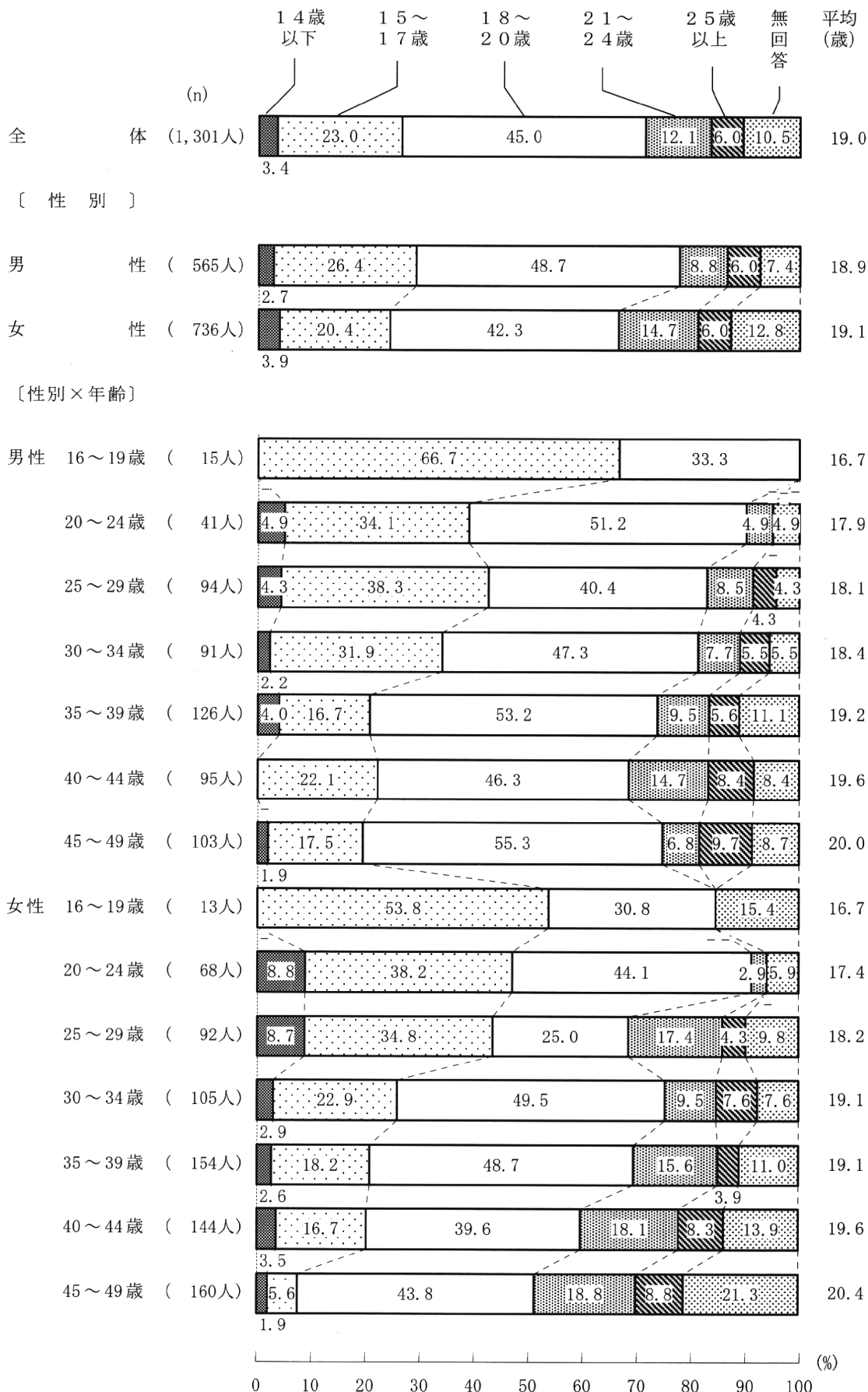
これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,301人）に、最初に異性とセックスをした年齢を聞いたところ、「18～20歳」という者が45.0%で最も多く、次いで「15～17歳」が23.0%、「21～24歳」が12.1%となっている。

最初にセックスをした平均年齢は19.0歳となっている。

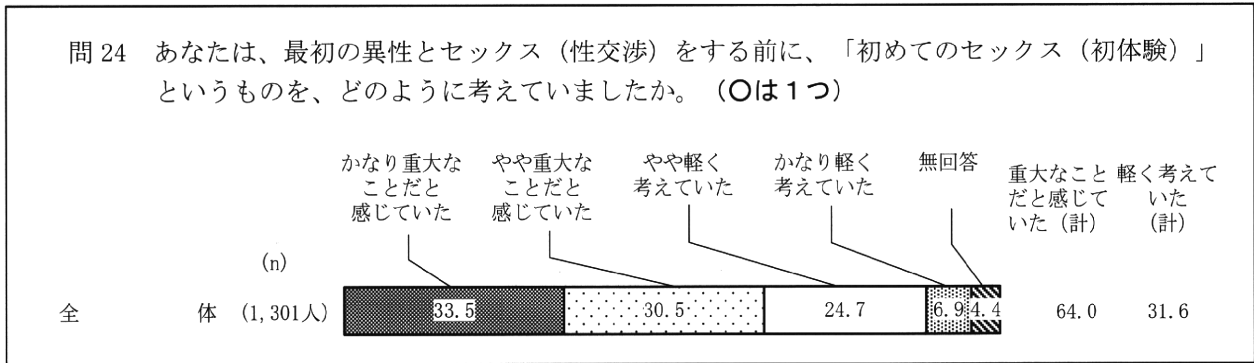
性別にみると（図4-1-1）、「15～17歳」「18～20歳」という者は男性（順に26.4%、48.7%）で、「21～24歳」という者は女性（14.7%）でやや多くなっている。

性・年齢別にみると（図4-1-1）、男女共に、年齢が高くなるほど最初にセックスをした平均年齢が高くなっている。女性45～49歳（20.44歳）だけが20代となっている。また、男性の45～49歳と35～39歳では「18～20歳」と答えた者がいずれも半数を大きく超えている。

図4-1-1 最初にセックス（性交渉）をした年齢（性別、性・年齢別）



2 「初めてのセックス（性交渉）」のとらえ方



これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,301人）に、最初のセックスをする前に、「初めてのセックス（性交渉）」というものをどのように考えていたかを聞いたところ、「かなり重大なことだと感じていた」という者（33.5%）と「やや重大なことだと感じていた」（30.5%）を合わせると、6割以上の者が最初のセックスをする前に“初めてのセックス”というものを『重大なことだと感じていた』（64.0%）と答えている。一方、「かなり軽く考えていた」という者は6.9%で、「やや軽く考えていた」（24.7%）を合わせた『軽く考えていた』（31.6%）者は3割である。

性別にみると（図4-2-1）、「初めてのセックス」というものを「かなり重大なことだと感じていた」（男性25.7%、女性39.5%）という者は女性で約4割を占め、男性を約14ポイント上回っている。また、『重大なことだと感じていた』女性（70.0%）は7割に達している。

性・年齢別にみると（図4-2-1）、「初めてのセックス」というものを「かなり重大なことだと感じていた」という者は女性の35～39歳（44.2%）で最も多くなっている。また、『重大なことだと感じていた』者は、男性はほとんどの年代で5割台であるのに対して、女性は6割台もしくは7割台と全体的に多くなっている。